

## 日中複合動詞脱範疇化の比較研究

### —「V-V」の副詞化を中心に

陳 月吾\* 王 育潔\*\*

## A Comparative study on Decategorization of Composite Verb between Japanese and Chinese

Yuewu Chen Yujie Wang

### Abstract

Decategorization is one type of grammaticalization. Decategorization refers to the phenomenon changing from major category (noun) to intermediate category (adverb and adjective) and finally to non-major category (preposition, auxiliary verbs etc.). This paper, in view of adverbialization, analyzes and compares the similarities and differences between the adverbialization of Chinese and Japanese compound verbs. Then, it concludes that in Chinese and English, compound verbs tend to become degree adverbs, which is used to emphasize the degree in written and oral Japanese, yet to focus on expressing meaning of extremity usually in oral Chinese.

キーワード：脱範疇化、複合動詞、日本語、中国語、副詞

### 1 複合動詞の脱範疇化

名詞や動詞のそれぞれの持っている形態的、統語的特性を失って、前置詞や接続詞などの特性を逆に持つていくことは脱範疇化と言われる。動詞や名詞の内容語において直接に前置詞や接続詞などの特性を得るわけではなく、中間的な範疇を経てから機能語の文法的機能を持ち始めるという構成要素も存在する。脱範疇化において、以下の一般経路を呈している。

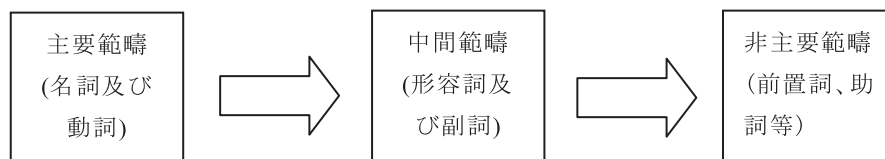


図1 脱範疇化の一般経路

実は脱範疇化について必ず明確に一線を画することができない場合が多い。例えば「～上げる」に「下から上へ」、「上向きになる」、「高い位置に据え付ける」、「動作や行為の完了」などの意味が同時に存在する。筆者は『広辞苑』と『漢語大字典』を調べてから、日中複合動詞に含まれる脱範疇化に属する部分を抽出し、研究対象とする。それに「虚辞」に関する本を参考にし、記述がないが脱範疇化した語と見なすべき語を引き出す。それから脱範疇化の一般経路に基づき、まとめると、日中両言語の複合動詞の構成要素において以下のような脱範疇化が見られる。

\* 基盤教育機構    \*\* 広西師範大学

表 1 日中両言語の複合動詞の脱範疇化

属性	日本語	中国語
中間範疇	副詞(20 語)	副詞(4 語)
非主要範疇	アスペクト(9 語) ヴォイス(2 語) モダリティ(1 語)	アスペクト(7 語) ヴォイス(1 語) 格標識(7 語)

以上のように、日中両言語における脱範疇化の複合動詞の構成要素を概観した。両言語に同じく「副詞化」、「アスペクト標識化」、「ヴォイス標識化」が存在するのみならず、それぞれ総計全体の 96%、61%という高い割合を占めている。本文は中間範疇の「副詞化」を取り上げ、日中複合動詞の副詞化を比較し、異同を考察する。

## 2 複合動詞における構成要素の副詞化

副詞について『広辞苑』によれば「主として用言および状態を示す体言また他の副詞を修飾する語」という。複合動詞の副詞化と言え、格への支配能力が喪失する上に前項・後項動詞に何かの修飾を加えることである。『広辞苑』と『漢語大字典』における副詞化した複合動詞の構成要素が以下のようなものである。

表 2 日中両言語の複合動詞の副詞化

副詞化	日本語	中国語
程度副詞化	引き～、取り～、押し～、搔き～、差し～、ぶち～打ち～、立ち～、～立てる、～上がる、～入る、～立つ、～抜く、～返る、～上げる、～切る、～飛ばす、～込む、～付ける、～尽くす	無
程度副詞標識化における極限副詞化	無	～死、～坏、～瘋、～透

ここで注目に値するのは、日中両言語の複合動詞について程度副詞化した複合動詞が存在するところに共通するが、中国語における極限副詞化が目立つ。次節では副詞化の現象について例をあげながら詳しく検討してみる。

### 2.1 日本語の複合動詞における副詞化

副詞は広辞苑により以下の四種類に分けられている。

1. 状態の副詞：すぐに、ときどき

主に動詞を修飾し、動作・作用がどんな状態か(どのように)を表す。

2. 程度副詞：とても、かなり、大変

疑問、禁止、感動などの意味を付け加える物である。

3. 叙述(陳述、呼応)の副詞：決して(～ない)、なぜなら(～だから)

被修飾語の部分に決まった言い方を必要とする副詞である。

#### 4. 指示の副詞

物事の様子などを指し示す副詞で、「こう」、「そう」、「ああ」、「どう」の4語だけである。

そして日本語の副詞化と言える複合動詞は「引き～、打ち～」等の前項と「～立てる、～こむ」などの後項にわたり、総計20語である。なぜ「副詞化」と考えるかについて『広辞苑』の解釈を見てみよう。

##### 1. 引き～

元の意味<sup>1</sup>：糸・紐などのはしを手で取り出して自分の方へ寄せる。

脱範疇化した意味：動詞の上に付けてきっぱりと何かをするなどの意を表す。

引き縮む、引き忍ぶ、引き絞る、引き締まる、引き締める、引き据える、引き立つ、引き放つ、引きまとめる、引き渡る

- (1) 豆腐や卵の優しい味をシジミの風味が引き締める。<sup>2</sup>  
 (2) 7日に2隻目を引き渡し、島民たちが餅まきをして祝った。

##### 2. 取り～

元の意味：手ににぎりもつ。

脱範疇化した意味：動詞に冠し、語勢を強めるのに用いる語である。

取り固める、取り消す、取り付く、取り泊まる、取り留める、取り払う

- (3) 「液化化」関連で積水化成品が堅調、日本での軟弱地盤改良に期待記事を取り消しました。  
 (4) 一命を取り留めた龍馬は現代へ飛び、献血を呼びかける。

##### 3. 押し～

元の意味：密着して圧力を加える意。

脱範疇化した意味：強力にすることを表す。

押し出す、押し入る、押し入れる、押し下ろす、押し隠す、押し切る、押しこむ、押し殺す、押し立つ、押し立てる、押し包む、押し通す、押しとる、押し並べる、押しなる、押し肌抜く、押し張る、押し開く、押し伏せる、押し巻く

- (5) エースの原君を前面に押し出しているけど、それだけではない。  
 (6) ハンバーガーを口の中に押しこむようにして食べ切った後、真剣な顔つきでパソコンに向かう。

##### 4. 掻き～

元の意味：爪またはそれに形の似た道具類で物の面をこする。

脱範疇化した意味：動詞に冠して語勢を強める語である。

<sup>1</sup> 「引き～、押し～、掻き～」など複合動詞の構成要素は、もともとそれぞれの動詞から変わったもので、原意も「引く、押す、掻く」などと同じだと言えるだろう。動詞の原意について、字典における語の第一義が最も基本的な意味とされるのが普通なので、本論では「元の意味」の拠り所とする。

<sup>2</sup> 第二章の例文は標記づけられた文以外に『人民日報』、『朝日新聞』、『中日対訳コーパス』から引用されたものである。

搔きかぞう、搔き口説く、かき曇る、搔き消す、搔きけつ、搔き冷ます、搔き抱く、搔きたゆ、搔き作る、搔き繕う、描き続け、搔き流す、搔き撫でる、搔きのす、搔き挟む、搔き放つ、搔きはやむ、搔き払う、搔きふす、搔き乱る

- (7) 金閣はあのエウリュディケーさながら、姿は忽ち搔き消されているように思われた。  
 (8) 空が急にかき曇る夢を見た日に、車が田舎道で溝にはまる。<sup>3</sup>

## 5. 差し～

元の意味：ある現象や事物が直線的にいつのまにか物の内部や空間に運動する意。  
 脱範疇化した意味：動詞に冠して語勢を強める語である。

差し集まる、差し歩む、差し急ぐ、差しいだす、差し受く、差し置く、差し押さえる、差し翳す、差し曇る、差し加える、差し直す、差し出す、差し並ぶ

- (9) それは、現職を差し置く評価を県連がしているとも受け取れる言葉でもあった。  
 (10) ノルウェーがギリシャに対する 4200 万ユーロの支援金の支払いを差し止めたこともユーロの圧迫要因となった。

## 6. ぶち～

元の意味：打つ、叩く、殴る。  
 脱範疇化した意味：動詞に冠して、強意、強勢を表す語である。『広辞苑』では「ぶち壊す、ぶち当たる、ぶち殺す、ぶち込む」といった 4 語である。「ぶち～」は口語によく使われ、『複合動詞資料集』からほかの用例を抽出する。

ぶち壊す、ぶち当たる、ぶち殺す、ぶち込む、ぶち当てる、ぶち落ちる、ぶち空ける、ぶち掛ける、ぶっ掛ける、ぶちかます、ぶち切る、ぶっ切る、ぶっ切れる、ぶち砕く、ぶっ込む、ぶっ殺す、ぶち壊れる、ぶっ裂く、ぶっ倒れる、ぶっ焚く、ぶっ違う、ぶっ潰す、ぶっ通す、ぶっ飛ばす、ぶち殴る、ぶん投げる、ぶち投げる、ぶち抜く、ぶんぬく、ぶちのめす、ぶっ放す、ぶちまける、ぶち破れる

- (11) 兼子のリアリティーがことごとく幻想をぶち壊す。

## 7. 打ち～

元の意味：ある物を他の物に瞬間的に強くあてる。  
 脱範疇化した意味：動詞に冠してその意を強める。

打ち明ける、打ち上げる、打ち当てる、打ち置く、打ち勝つ、打ち効く、打ちきたむ、うち興ずる、打ち切る、打ちくつろぐ、打ち消す、打ち消す、打ち込め、打ち殺す、打ち壊す、打ち沈む、打ち据える、打ち過ぎる、打ちすぐす、打ち捨て、打ちそう、打ち揃う、打ち耐える、打ち倒れる、打ち立つ、打ち出す、打ち立て、打ち散らす、打ち続ける、打ち集う、打ちとく、打ち眺める、打ち靡く、打ち抜く、打ち始める、打ち外す、打ち省く、打ち囃す、打ちはやる、打ち開く、打ち伏す、打ち負かす、打ち任す、打ち紛れる、打ち破る、打ちゆく

<sup>3</sup>西谷泰人の super 手相鑑定 [http://www.nishitani-newyork.com/jpn/dream/0704/dream\\_0424.html](http://www.nishitani-newyork.com/jpn/dream/0704/dream_0424.html)

- (12) ただ、7月以降は自動車各社が生産を回復させており震災の影響を打ち消すための増産に乗り出している。

## 8. 立ち～

元の意味：事物が上方に運動を起こしてはっきりと姿を現す。

脱範疇化した意味：動詞に冠して、語勢を強める語である。

立ち至る、立ち隠くる、立ち勝る

- (13) 北にある楢形山、東にある源氏山、それらの特徴の少ない山容と比較すると、丸山は独立峰然としてはるかに立ち勝っている。

## 9. ～立てる

元の意味：事物に盛んな運動をおこさせ、姿をはっきり現させる。

脱範疇化した意味：他の動詞の連用形に付いて、その動作が特に目立っている意を表す。きわだって…する。目につくほど…する。

暴き立てる、買い建てる、書き立てる、飾り立てる、駆り立てる、蹴立てる、騒ぎ立てる、攻め立てる、責め立てる、そそり立てる、叩き立てる、突き立てる、作り立てる、突っ立てる、鳴き立てる、拭き立てる、褒め立てる、まくし立てる、磨き立てる、見立てる、揉み立てる

- (14) デビュー作の「孤虫症」もびっくりしたけど、女の生理的な気味悪さを暴き立てる文体は立派な才能ですね。

- (15) だが、マスコミは「これが本当の『都落ち?』」と書き立てた。

## 10. ～上がる

元の意味：力や手を加えて、物の位置や状態や次元を高くする。

脱範疇化した意味：極点にまで達する意を示す。すっかり…する。

竦み上がる、縮み上がる、沸上がる、腫れあがる、干上がる、冷え上がる、震え上がる、茹で上がる

- (16) 縮み上がるカップルは、男が翔子の婚約者、女が彼女の会社の後輩。

## 11. ～入る

元の意味：外から中に移動する。はいる

脱範疇化した意味：他の動詞の連用形に付いて意味を強める。

呆れいる、驚き入る、感じ入る、困りいる、死にいる、染み入る、咳入る、頼み入る、突き入る、泣き入る、嘆き入る、念じ入る、恥じ入る、見入る、咽びいる、読み入る、詫び入る、笑い入る

- (17) この作品には木や動物の気持ちがたくさん入っていて、感じ入るものがあつた

- (18) 館内に入ると、持参した長袖を着て展示に見入る人も少なくない。

## 12. ～立つ

元の意味：事物が上方に運動を起こしてはっきりと姿を現す。

脱範疇化した意味：他の動詞の上に付いてその行為が表立っていることを表す。

あり立つ、荒れ立つ、勇み立つ、競い立つ、騒ぎ立つ、敷きたつ、装束き立つ、弾き立つ、巻き立つ、捲り立つ、燃え立つ、沸き立つ、湧き立つ

(19) 終わらない“ゴッホ愛” 燃え立つタッチで画面と格闘した「炎の人」。

(20) 地名が引き立つためには地名以外のフレーズが地名と競い立つようであればいけない。<sup>4</sup>

### 13. ～抜く

元の意味：ふさいでいるものを細長いもので突き破って向う側に出す。

脱範疇化した意味：動詞の連用形に付いて、すっかり…する意味を表す。

考え抜く、困り抜く、知り抜く、染め抜く、突き抜く、煮抜く、粘り抜く、弱り抜く

(21) 役作りのために、ことという女の子について徹底的に考え抜いた。

### 14. ～返る

元の意味：事物・事柄の位置・順序・状態などが入れちがいになる。

脱範疇化した意味：他の動詞の連用形に付いて、はなはだしいさまを表す。

消え返る、冴え返る、寂び返る、死に返る、染み返る、悄気返る、反りかえる、泣き返る、成り返る、煮え返る、濡れ返る、跳ね返る、噎せ返る

(22) その後、捨てられた三毛猫に出会った。にゃーと一声泣いたので、泣き返してやった。<sup>5</sup>

### 15. ～上げる

元の意味：力や手を加えて、物の位置や状態や次元を高くする。

脱範疇化した意味：極点にまで至らせる意味をさす。

鍛えあげる、括りあげる、汲み上げる、縛り上げる、絞り上げる、締め上げる、調べ上げる、咳上げる、張り上げる、褒め上げる、巻き上げる、磨き上げる、焼きあげる、茹で上げる

(23) 国内市場から世界に通用する製品を鍛えあげるパターンが消えつつある。

### 16. ～切る

元の意味：連結・結合しているものを断つ。離す。

脱範疇化した意味：運動が完全にその終局点に到達する。すっかり…する意を表す。

聴き切る、決まり切る、困り切る、澄み切る、叩き切る、疲れきる、詰め切る、苦り切る、張り切る、冷え切る、吹き切る、吹っ切る、燃え切る、焼き切る、分かり切る

(24) 朝、甲府発上り特急列車に乗る予定だった甲府市の専門学校講師、岩瀬淑子さん（52）は『もう少し早く知らせてほしかった』と困り切った様子だった。

<sup>4</sup> 鷹俳句会ホームページ/鷹への誘い [http://www.k4.dion.ne.jp/~takahaik/0912monthly\\_syuku.html](http://www.k4.dion.ne.jp/~takahaik/0912monthly_syuku.html)

<sup>5</sup> 木村ぶつぶつブログ何方も先生である <http://kmrb2dn.blog15.fc2.com/blog-entry-64.html>



17. ～飛ばす

元の意味：飛ぶようにする。空に上げる。空中を移動させる。

脱範疇化した動詞に付いて、その動作を強めたり、勢いよくしたりする意を表す。

売り飛ばす、叱り飛ばす、殴り飛ばす、笑い飛ばす、跳ね飛ばす

(25) いつ休むのかと側近の心配をよそに、さらりと笑い飛ばす。

18. ～込む

元の意味：内部へ内部へとものごとが入り組んで密度が高まる意である。

脱範疇化した意味：他の動詞の連用形に付いてすっかりそうなる意を表す。またはみっちり、または十分にそうする意を表す。

古い込む、教え込む、思い込む、考え込む、刻み込む、銜え込む、締め込む、しゃがみ込む、悄気込む、咳き込む、剃り込む、騙し込む、黙り込む、溜め込む、誑し込む、談じ込む、照り込む、怒鳴りこむ、習い込む、鳴り込む、煮込む、寝こむ、眠り込む、走りこむ、話し込む、冷え込む、塞ぎ込む、惚れ込む、祭り込む、見込む、粧し込む、凭れ込む

(26) 各様の姿にロシア革命の悲劇も宿っていて考え込む。

(27) 座席で眠り込んだ乗客の体をゆすって起こしたら突然殴られた」といった報告例もある。

19. ～付ける

元の意味：二つの物を離れない状態にする。

脱範疇化した意味：他の動詞に付いて、勢いのはげしい意を表し、あるいは語調を強める。

言いつける、傷めつける、射つける、煎りつける、押し付ける、脅しつける、刻み付ける、決め付ける、斬りつける、蹴付ける、叱りつける、仕付ける、締め付ける、攻め付ける、責め付ける、叩き付ける、照り付ける、どやしつける、殴りつける、投げつける、睨みつける、吹きつける、遣っ付ける

(28) 何をしても文句ばかり、夜中に介助者を何度も起こして用を言いつける変わりよう。

(29) 目が疲れてしみて、思い切り目を殴りつけられたかのようです。夜になると目の前がぼんやりかすんで、よく見えません。

20. ～尽くす

元の意味：つきるようにする。なくする。空しくする。

脱範疇化した意味：動詞の連用形に付いて、すっかり…する。…しきる。

言い尽くす、聞き尽くす、泣き尽くす、鳴き尽くす、見尽くす

(30) 声を限りに鳴き尽くすいじらしい鈴虫のように、長い秋の夜を泣き通すそのわたしの涙は飽きもせずいつまでも降りそそぐ。<sup>6</sup>

以上述べられた構成要素はいずれも格支配能力の下落の上、動詞に付いて、「その意を強める」、「すっかりする」、「その行為が表立っていることを表す」と解釈された。そして多くの研究者(寺村、石井、姫野、田辺)は前項または後項の表す運動に強意の意味を添えると認めている。つまり、副詞の機能を働くことに相当するだろうと筆者は考える。例えば

<sup>6</sup> 寅の読書室 <http://www.marute.co.jp/~hiroaki/genzi/kiritubo/kiritubo-10.htm>

1) 太郎は秘密を隠す。

太郎は秘密を押し隠す。

太郎は必死に秘密を隠す。

太郎は必死に秘密を押し隠す。

太郎はゆっくり/ちょっと秘密を押し隠す。 (×)

2) 彼の秘密を暴く。

彼の秘密を暴き立てる。

彼の秘密を徹底的に暴き立てる。

彼の秘密を徹底的/すっきりに暴く。

彼の秘密を少し/ちょっと暴き立てる。 (×)

以上の例からみれば「押し」、「立てる」という語が「必死に、徹底的に、すっきり」という程度の強さを表す副詞に置き換えられ、時として共起できる一方、「ちょっと、すこし」という程度の弱さを表す副詞と共起できないことから、「押し、立てる」などが動作の程度の強さを表す程度副詞化であると考えられる。

そして使用的面からみれば、日本語側の副詞化した構成要素は動詞を強めるのみならず、書き言葉または話し言葉に傾く働きを持つ。書き言葉に関して、辞典の釈意において「文」という標識が付けられる。例えば、「煽り立てる」について

あおり - た・てる【煽り立てる】  
 [他下一] [文]あふりた・つ(下二)  
 (「煽る」を強めた語)  
 ①風が物を激しく揺り動かす。

という解釈がある。「文」の表記から「煽り立てる」が大いに書き言葉に用いられると判断できる。これらの動詞は強意のみならず、古めかしさを帯びていると判断できるだろう。「～立てる」のみならず、前項が構成される「引き締める、取り留める、押し並べる、押し伏せる、差し押さえる、差し加える」など、後項が構成される「書き立てる、攻め立てる、洗いあげる、売り上げる、言いつける」などがその例である。例えば：

1) そこでマス・ヒステリヤはこの男を悪の権化として集中的に攻撃し、読者の嫉妬心を煽り立ててあったのである。

2) 雲雀はのどかな春の日を鳴き尽くし、鳴きあかし、又鳴き暮らさなければ気が済まんと見える。<sup>7</sup> 『草枕』

3) またアルブレヒトも同じ道に追いやられるが、ジゼルのミルタへの命乞いによって、一命を取り留める。

文語以外に、口語によく使われるのが「ぶち～」、「～飛ばす」などである。たとえば：

1) いいぜてめえが何でも思い通りに出来るってなら、まずはそのふざけた幻想をぶち殺す。<sup>8</sup>

2) 阿呆！ 余りにも人を舐めた態度だといいい加減殴り飛ばすぞ。<sup>9</sup>

以上のように、「ぶち殺す」、「殴り飛ばす」が乱暴さを帯びるので人に悪いイメージを与えると  
 言えよう。

そして意味的な面から見れば今まで述べられた副詞化の動詞はいい意味にも悪い意味にも使わ

<sup>7</sup> 青空文庫 夏名漱石『草枕』 [http://www.aozora.gr.jp/cards/000148/files/776\\_14941.html](http://www.aozora.gr.jp/cards/000148/files/776_14941.html)

<sup>8</sup> 逆襲のナッパ <http://ifs.nog.cc/yamnov.hp.infoseek.co.jp/kako/nappa.html>

<sup>9</sup> 学校1 ミリシーベルト以下目指す(評論) <http://www.asyura2.com/11/genpatu11/msg/815.html>



れる。副詞化の動詞はその原意が希薄になるので、その意味的な特徴がほとんど前項動詞・後項動詞の意味によって決まる。

### 3.1.2 中国語側の副詞化

中国語には副詞について日本語とほぼ同じ定義であるが、副詞の種類は若干異なる。劉月華によると、中国語の副詞<sup>10</sup>が以下のようなものである。

1. 時間副詞：立刻(早速)、马上(直ちに)
2. 否定副詞：不、没(ない)
3. 範囲副詞：都(あらゆる)、全(全て)
4. 程度副詞：很(とても)、十分(十分)、非常(非常に)
5. 頻度副詞：再(再び)、也(また)
6. 語気副詞：可(やっと/よく)、幸亏(幸いにも)
7. モダリティ副詞：猛然(猛然たる)、依然(依然として)、渐渐(ますます)

以上は中国語における副詞の分類を述べた。中国語において副詞化の複合動詞の構成要素がどうなっているだろう。中国語において副詞化の複合動詞の構成要素は「死、坏、透、疯」という4語しかなく、いずれも後項である。日本語と比べてごく僅かしかないが中国語において「極限補語」とう専門用語で呼ばれる。極限と言えは程度のことである。程度副詞に三つの段階があるといわれ、「極限補語」は第3段階に属し、程度の極限を表すようになる。方芳(2006)は「もともと『死、坏、透』とした動詞が具体的な内容と表す動詞と結びつくと、程度の極限を表すようになる一方、元の語彙的意味がなくなってしまう」<sup>11</sup>と分析した。そうした「死、坏、透、疯」は実に動詞から極限副詞への脱範疇化と見なす事ができるだろうと思う。以下では例を挙げながら説明する。

#### 1. ～死

元の意味：死ぬ

脱範疇化した意味：極限を表す。

『常用詞首詞尾データベース』と『中日対訳コーパス』から出た用例は18語しかない。しかし、それ以外に日常生活では「～死」と組み合わせ、極限を表す複合動詞が多数である。以上の語をまとめると次のようになる。

吵死、困死、急死、笑死、迷死、痛死、烦死、骂死、拴死、堵死、限死、恨死、馋死、缠死、懒死、拦死、扣死、闷死、急死、哭死、悔死、想死、算死、晒死、锁死、噎死、晕死、醉死、写死、吓死、怕死、恨死

(31) “妹妹！事已至此，就是骂死我，打死我，也不中用了。”

#### 2. ～坏

元の意味：物が壊れる。悪くなる。

脱範疇化した意味：極限を表す。

「死」と同様に『常用詞首詞尾データベース』と『中日対訳コーパス』からきた語が少ない。しかし、口語として頻繁に使用される語が存在する。両者をまとめると以下のようなものである。

闷坏、吓坏、笑坏、闻坏、看坏、气坏、想坏、写坏、累坏、等坏、急坏、饿坏、哭坏、爱坏

<sup>10</sup> 刘月华. 实用现代汉语语法. 中国：商务印书馆，2003，609

<sup>11</sup> 方芳. 现代汉语极限性补语的多维考察. 中国：四川大学硕士论文，2006，9

(32) 姜赵氏听到这两个字以后气坏了！

### 3. ～透

元の意味：(液体、気体、光線などが) 突き抜ける。通り抜ける。

脱範疇化した意味：極限を表す。

『常用詞首詞尾データベース』と『中日対訳コーパス』からきた語が少ない。しかし、口語としてよく用いられる語がある。両者をまとめると以下のようである。

伤透、恨透、吃透、死透

(33) 一句话，我恨透了那个吃人的旧社会。

### 4. ～瘋

元の意味：気が狂った。

脱範疇化した意味：極限を表す。

『常用詞首詞尾データベース』と『中日対訳コーパス』からきた語が少ない。しかし、口語としてよく用いられる語が多数である。以上の語をまとめると次のようになる。

饿瘋、笑瘋、吃瘋、玩瘋、耍瘋、骂瘋、学瘋、唱瘋、爱瘋、喝瘋、气瘋、急瘋、看瘋、等瘋、吓瘋、惊瘋

(34) “救命啊，救命啊！”那惊瘋的奔马拖着大车冲过来了。

中国語における副詞化の動詞は日本語に対し、極限を表すのでその前に「很、十分、非常」とういった程度の強さを表する副詞を添加することができない。以下の例を見てみよう。

1) 一句话，我非常/十分恨透了那个吃人的旧社会。 (×)

2) 姜赵氏听到这两个字以后十分/及其气坏了！ (×)

そして使用的な面から見れば以上の4語は常に口語に用いられる。邱冬梅は「極限補語は主観的な判断を表すので、論文、新聞、正式的な公文に見られず話し言葉として多用される。」<sup>12</sup>例えば

1) 外甥女赶紧说：“算了吧，我才不用呢，还不让同学笑死。”

2) 一天深夜，女主人接到一个陌生女人打来的电话：“我恨透我的丈夫了。”

3) 川籍老师李敏说，这是川娃们第一次逛庙会，看不够的小玩意、吃不够的北京小吃，“让他们都玩瘋了”。

ここから見れば中国語の複合動詞の副詞化の構成要素が口語に用いられることに傾くと結論できる。

また意味的な面から言えば、「死、坏、透、瘋」が後項動詞としてその前に付ける動詞について、劉月華により「『死』、『坏』は補語としてマイナス・プラス意味を含む動詞と接続し得るが、『透』はマイナス意味を表す動詞に付ける場合が普通である。」<sup>13</sup>と指摘された。「死」はもともと「命がなくなる。」を意味し、マイナスイメージを帯びるので、虚化した「死」にしても、元来のマイナスイメージが一切消去するわけではないがゆえ、副詞化としての「死」が積極的意味の語より消極的意味の語のほうが多い。それに邱冬梅によると形容詞と接続することが多く、マイナスイメージを表する「透」を除き、「坏、死、瘋」はマイナスイメージを表するものの、時としてプラスイメージも表し得るように、より中間的な性質を有するという。つまり「坏、死、瘋」はコン

<sup>12</sup> 邱冬梅. 口语中普遍而又特殊的补语类型-感受程度补语. 广州大学学报(社会科学版), 2001, 10: 59~62

<sup>13</sup> 刘月华. 实用现代汉语语法. 中国: 商务印书馆, 2003, 609

テキストによりもともと悪い意味にもいい意味にも使用されるし、脱範疇化しても、前に来る動詞により、その意味的な特徴を判断するのである。

### 3.1.3 副詞化対照研究の結論

以上は副詞化した複合動詞の構成要素を比較し、論述してきた。日中両言語において程度副詞に変化し動作を強める機能を果たす構成要素が存在するだけでなく、相違点も少なくないと考えられる。比較した結果は以下のようにまとめられる。

1. 日本語において程度副詞化した動詞は前項・後項動詞に渡り、総計 20 語であるのに対し、中国語において程度副詞化した動詞は全部後項動詞で、4 語しかない。
2. 同様に程度副詞化とはいえ、日本語においてその動詞は程度の強さを表す副詞と共起でき、「しっかり、激しくする」と意味するが、中国語において程度の強さを表す副詞と共起出来ず極限を表すようになっている。
3. 使用的な面から見れば、日本語における程度副詞化した 20 語は書き言葉と話し言葉にも用いられるが、中国語の程度副詞化した 4 語は話し言葉に多用される。
4. 意味的な面から見れば、日本語における程度副詞化した 20 語はもともと悪い意味にもいい意味にも使用し得るので、脱範疇化してもその性質も変わらない。中国語において「透」は形容詞と接続することが多く、マイナスイメージを表している。「坏、死、疯」はマイナスイメージを表するものの、時としてプラスイメージも表し得るように、より中間的な性質を有するという。

脱範疇化は文法化の重要な概念として、言語を動的に把握するには大きな役割を果たしている。英語を初め、様々な言語をめぐる多くの研究者が研究してきた。本論文は日中複合動詞の副詞化について比較してみたが、結論はその現象にとどまっただけだ。なぜ動詞が副詞化に変わるかという原因に触れていない。それは今後の課題として研究してみたい。

### 例文出典

人民日報 人民日報出版社

[http://paper.people.com.cn/rmrb/html/2011-12/06/nbs.D110000renmrb\\_01.htm](http://paper.people.com.cn/rmrb/html/2011-12/06/nbs.D110000renmrb_01.htm)

朝日新聞 朝日新聞社

<http://www.asahi.com/>

中日対訳コーパス（第一版）（2003）北京日本学研究中心

### 参考文献

野村雅昭・石井正彦・林翠芳，複合動詞資料集，日本：国立国語研究所，1987

Hopper Paul, Elizabeth Closs Traugott. *Grammaticalization*. Cambridge : Cambridge University Press, 1993

田辺その子，日本語学論説資料 33 第四分冊語彙，日本：論説資料保存会，1996，240～248

姫野昌子，複合動詞の構造と意味用法，日本：ひつじ書房，1999

汉语大字典编纂委员会，汉语大字典，中国：四川辞书出版社・湖北人民出版社，1999

邱冬梅，口语中普遍而又特殊的补语类型-感受程度补语，广州大学学报（社会科学版），2001，10

秋元実治，文法化とイデオム化，日本：ひつじ書房，2002，2～46

刘月华．实用现代汉语语法．中国：商务印书馆，2003

松田文子．日本語複合動詞の習得研究－認知意味論による意味分析を通じて．日本：ひつじ書房，2004，13～60

郭永刚．日语复合动词中的甚词研究．佳木斯大学社会科学学报，2005，3：139～141

方芳．现代汉语极限性补语的多维考察．中国：四川大学硕士论文，2006

付哈利．试论汉语“死”的语法化．市场周刊理论研究，2007，8：159～161

石井正彦．現代日本語の複合語形成論．日本：ひつじ書房，2007

新村出．EBwin 広辞苑第六版電子版．日本：岩波書店，2008

中央研究院词库小组．常用词首词尾字查询．<http://turing.iis.sinica.edu.tw/affix/>

(平成 25 年 3 月 31 日受理)